



2022年8月15日

株式会社 阿波銀行

富士木材工業協同組合の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、富士木材工業協同組合（代表理事 松田 直也、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	富士木材工業協同組合
所在地	徳島県徳島市津田海岸町5番33号
代表者	松田 直也
業種	木材加工業
設立	1969年12月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月15日



富士木材工業協同組合 代表取締役 松田 直也

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	ワークライフ バランス	社員の豊かなライフスタイル 実現のため、育児や介護と 仕事を両立しやすい 環境を目指します。	①各種休暇を取得しやすい風土づくり	
			②2025年までに有給休暇取得率を 30%以上	
環境・ 経済	移動・輸送に おける 環境配慮の 推進	社有車、従業員の移動、 製品の輸送などにおいて、 より環境に配慮した手段を 選択します。	①ハイブリッドカー・電気自動車・ 電動フォークリフトの導入	
			②2032年までに導入率50%	
環境・ 経済	地産地消の 推進	地域産の材料・食品・ 製品などの地域資源を 積極的に活用し、 地産地消・地産外商を 推進します。	①徳島県産材の利用推進	
			②2030年までに県産材利用割合 30%以上（現状10%）	
社会・ 経済	SDGsの 取組みの表明	会社としてSDGsに 取組むことを決め、 その社会的な意義や 自社にとっての目的を 従業員に伝え、 社会へ貢献します。	①SDGsを取入れた経営方針・ 経営計画の表明、従業員への浸透	
			②月1回SDGs取組周知会実施	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。